

第14回 大和高田市 口腔ケア研修会(医科歯科連携)開催報告



- 日 時: 令和4年9月29日(木) 17時30分～19時00分
- 場 所: 放射線治療棟 3F 大会議室
- 参加者数: ・院外)合計 35名: 歯科医師 20名、歯科衛生士 13名、看護師 1名、ST 1名
・院内)合計 24名: 看護師 19名、管理栄養士 3名、ST 1名、介護福祉士 1名
・Web)合計 4施設+1名
- 講 師: 日本歯科大学 教授 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長 菊谷 武 先生

最初に菊谷武先生より歯科医師や歯科衛生士に向けて「在宅における歯と臨床倫理」のテーマで約30分間の講演後、病院スタッフに向けて「地域における食支援～食べるを支える、食べられないを支える～」をテーマにご講演いただきました。

まず、現在の多歯時代についての説明がありました。日本歯科医師会が推奨する『8020運動』の達成者が51.2%となったことにより、75～84歳の約90%の方が齲歯をもつ結果となったことを話されました。残存歯や咬合支持の維持はADLの維持と食形態の維持に関連する反面、要介護高齢者の多数歯の存在は唾液中の細菌数が増加し発熱や肺炎発症と関連するため、残歯が多い方ほど日々の口腔ケアを含めた口腔管理が大切であると学びました。また、実際にカンジダ感染や剥離上皮膜、痂皮などを実際の症例写真をスライドで見せていただき、日頃の患者の観察に繋がられる内容でした。研修後のアンケートからは「歯の数と口腔内細菌の関係を知ることができた」「歯は残っていたほうが良いと思っていたが、多歯による問題もあるということを知ることができた」「歯を残すリスクについて考えさせられた」などの感想がありました。

最後に、菊谷先生から「私たちは、生きるためのそして幸せのための器官である『くち』を守るために、ケアの手を緩めてはいけない」と教えて頂きました。今回、講師に来ていただいた菊谷武先生は、多摩クリニックFacebookやYouTube、多数の著書の執筆もされている大変有名で御多忙な先生ですが、当院に歯科ラウンドに起こしいただいている、やまもと歯科 山本伸介先生の御尽力により、今回の研修を開催することができました。今後も定期的な歯科ラウンドを利用して、適切な口腔ケアが提供できるように関わっていきたいと思います。

皆さま、お忙しい中ご参加いただき、
ありがとうございました

